Juhachi-Shinwa Art Gallery 10th Anniversary
十八親和アートギャラリー開館10周年記念
第4弾

［同時開催］ 縁起ものと現代の陶工展

ギャラリー開館10周年を記念した特別記念展の第4弾といたしまして、コレクションの中から絵画と陶磁器、ふたつの企画展を同時開催いたします。

季節展示室と絵画展示室1に於いて、「郷土画家～畑農照雄の油彩画」を開催いたします。郷土画家の畑農照雄は油彩画や水彩画で数多くの作品を描いた一方で、ミステリー小説の装丁や挿絵で広く知られました。本展では未公開作品を中心に8点（初公開6点）をご紹介いたします。

また、陶磁器展示室2の一部に於いて、「縁起ものと現代の陶工展」を開催いたします。古くから縁起のよい文様は広く親しまれ、陶磁器でも様々な作例を見ることができます。本展では、宝尽くし文様が描かれた鍋島藩窯の大皿をはじめ、縁起物とされる鶏や柘榴、瓢箪などをモチーフとした香炉や花器などのほか、現代陶工による優美な磁器の逸品など9点（初公開6点）をご紹介いたします。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

畑農 照雄（はたの・てるお）：1935～2004。長崎県佐世保市に生まれ、幼少より画家を志す。長崎大学学芸学部美術科を卒業し、県内の小中学校に勤務しながら県展などで精力的に作品を発表した。上京後の1972年に銀座で初個展を開催。渡欧歴3回。赤川次郎や筒井康隆などミステリー小説の装丁や挿絵で広く知られた他、句会での活動や渋谷区立松濤美術館での版画講師など多方面で活躍した。

十八親和アートギャラリー
鑑賞無料

［開館時間］10：00～16：00（入館は15：30まで）
［休　館　日］日・月・祝日、年末年始（12/31～1/3）
※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F　TEL.0956-23-4856　西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分